



LET'S PLAY

Indiaca

27

2004.5

Japan Indiaca Association

● (社)日本インディアカ協会

社団法人 日本インディアカ協会

平成16年度事業計画

幼児期から高齢期まで生涯にわたって行うスポーツは、それぞれの年齢や体力、志向の推移、人の環境や立場などによって多様な行われ方を示す。幼少年期のスポーツは「遊戯性」が前面に現れるが、青年期には「闘争性」が強調され、成人期には「社交性」が、高齢期には「健康性」が求められるというように、スポーツのもつ本質的性格のいずれの側面に重点をおかれるかという推移がある。しかし大切なことは、何かひとつの側面のみが前面に出るのではなく、他の側面に留意した指導がどの対象にも必要である。

2004年の最も大きなかつ重要な事業として、「2nd Indiaca World Championships in Tsuba」が茨城県つくば市において、8月21日(土)～24日(火)まで国際協会加盟7カ国総勢350名が一堂に会し、開催される。この機会を活用して、マスコミをはじめ一般市民にインディアカの楽しさ、スポーツとしての奥行き、国際交流の意義のすばらしさをアピールし、インディアカ発展の節目にしたいと考える。(詳細別記)

【競技会の開催】

〔各種全国大会〕

- 『第7回 全日本シニアインディアカ大会
兼北海道・東北ブロックマスターズインディアカ大会』
・2004年6月20日(日)
北海道函館市「函館市民体育館」 64チーム(380名)
本大会は、北海道・東北ブロック協議会のご好意により、マスターズ大会と兼付きで開催する。
20年の歴史の中で、若い世代の台頭と共に、技術、体力のレベルがアップされ、年齢・体力のハンディキャップは、競技に直接影響し、競技する楽しさや喜びを著しく阻害してしまう。従って、シニアの大会を独立させることにより、中高年者インディアカ愛好者の活動の場をつくる意味がある。
- 『第27回全国インディアカ大会』
・2004年9月19日(日)
鳥取県鳥取市「鳥取市民体育館」 72チーム(400名)
「第58回全国レクリエーション大会」の中で開催される。
今回は2006年スポレク祭を開催する鳥取県インディアカ協会が、総力を挙げて開催する初めての全国大会である。

- 『第17回全国スポーツ・レクリエーション 祭インディアカ大会』

・2004年10月3日(日)～10月4日(月)
福井県大野市「大野市エキサイト広場総合体育施設」
48チーム(480名)

〔ブロック大会〕

- 『北海道・東北 ブロック インディアカ大会』
・2004年9月12日(日)
宮城県白石市「白石市文化体育活動センター」
- 『関東甲信越ブロックインディアカ大会』
・2004年6月27日(日)
神奈川県横須賀市「横須賀市総合体育館」
84チーム(500名)
- 『東海・北陸ブロックインディアカ大会』
・2004年9月5日(日)
愛知県豊橋市「豊橋市総合体育館」84チーム(500名)
- 『関西ブロックインディアカ大会』
・2004年10月30日(日)
大阪府大阪市「大阪府立体育会館」72チーム(400名)
- 『中・四国ブロックインディアカ大会』
・2004年5月23日(日)
高知県南国市「南国市スポーツセンター」
60チーム(250名)
- 『九州・沖縄ブロックインディアカ大会』
・2004年11月21日(日)
長崎県島原市「島原市復興アリーナ」
60チーム(350名)

【個人会員・普及審判員拡大キャンペーン】

(社)日本インディアカ協会、都道府県インディアカ協会の発展は個人会員並びに普及審判員の拡大にかかっていると一言しても言い過ぎではない。

現在都市部に集中している会員、普及審判員が全国のバランスよく配置されるとが最も望ましいと考える。

今回のキャンペーンは、下記の期間とし、各都道府県協会は最低1～2回の「普及審判員認定講習会」を開催し、新規登録者を拡大し、普及審判員数の地域格差を少しでも埋めることに主眼を置く。

更に、2004年は、会員・公認審判員の有効期限延長による更新対象者が激減する年であり、このまま放置すると

3年後再びこの事態を招くことになる。これは、日本協会をはじめ各都道府県協会にとっても望ましいことではなく、本年は総力を挙げて「個人会員・普及審判員」の拡大を図らなければならない。

〈方法〉：都道府県協会に「普及審判員認定講習会の開き方」についての手引きを送付、開催を促す。

〈期間〉：2004年4月1日～11月15日

【指導審判員研修会】

指導審判員が3年に1回（資格有効期限が延長されたため更新義務としては3年に1回）最寄りの開催地に集合し、指導法・審判法・競技運営法・安全管理等の実践研究を行う。

またルールの共通理解や大会運営について学習する機会として開催している。

今年度は、2会場で開催する。

●「東日本地区研修会」 未定

●「西日本地区研修会」 未定

〔認定員研修会〕

●「東日本地区研修会」 未定

●「西日本地区研修会」 未定

【国際交流事業】

〈インドアカのアジア・ハワイへの普及〉

国際インドアカ協会は、ヨーロッパだけではなく、イ

ンディアカを世界中に広げて行く事を目的に掲げている。

中でもアジアに於けるインドアカの普及は、日本が推進しなければならない。

アジア各国の情報を収集し、交流する機会を見つけると同時に、在留しているアジア各国の学生、一般人との交流も計画していきたい。

また、多様なイベントを開催している団体・旅行社からの勧めもあり、日本との縁が最も深いハワイと2005年にスポーツの国際大会を計画している東南アジアのタイランドへの普及を考えていく。

・〔ハワイ研修旅行〕

ハワイ（主にオアフ島）在住の市民とのインドアカによる交流

〈期 日〉2005年1月14日（金）～19日（水）

4泊6日

〈参加費〉1名：130,000円前後

・〔タイランド研修旅行〕

タイランド（主にチェンマイ市）在住の市民とのインドアカによる交流とインドアカの普及

〈期 日〉2004年11月3日（木）～7日（月）

4泊5日

〈参加費〉1名：150,000円前後

全国大会報告

〔各種全国大会〕

1. 「'03 ジャパン フレンドシップ インディアカ リーグマッチ」(第10回)

・2003年7月21日（日）

・JR千駄ヶ谷駅前「東京体育館」

〈フレンドシップの部〉

・一般女子の部 32チーム、一般混合の部 24チーム、シニア女子の部 16チーム、シニア混合の部 16チーム 合計88チーム

〈オープン選手権の部〉

・男子の部 5チーム、女子の部 8チーム、混合の部 16チーム 合計29チーム

審判員は、東京都インドアカ、運営員などは、関東地区インドアカ協会の協力で開催している、最も大規模かつ内容の充実した全国レベルのインドアカ大会である。

1グループ11チームによる8グループの団体対抗戦で、グループは8色に色分けされており、当日配布されるTシャツのその色が示されている。

今回は、2004年8月に開催される「第2回インドアカワールドチャンピオンシップ」に出場する日本代表を決める部門を併設して行った。

結果、一般男子の部、一般女子の部、一般混合の部代表チームが決定した。

シニアの部の代表は、「第6回全日本シニアインドアカ大会」で決定された。

2. 「第6回日本シニアインドアカ大会」

・2003年11月30日（日）

・愛媛県松山市「愛媛県立武道館」

・「第2回インドアカワールドチャンピオンシップ」の代表が決定した（シニア女子の部、シニア男子の部は、日本協会のすいせんで決定される。

3. 「第14回 オールジャパン レディース インディアカ大会」

・2003年9月29日（日）

・大阪府「大阪府立体育会館」

・28チーム

4. 「第16回全国スポーツ・レクリエーション祭」

・2003年11月2日（日）～11月3日（月）

・香川県香川町「香川町総合体育館」

・48チーム(480名)

5. 「第26回全国インドアカ大会」(第57回全国レクリエーション大会)

・2003年11月28日（日）

・広島県廿日市市「サンチェリー」

・60チーム

6. 「'03オールジャパンインドアカ大会」

・2003年1月26日（日）

・熊本県八代市「八代市総合体育館」

・56チーム

第1回 日・タイ友好インディアカ国際交流会報告

日・タイ友好インディアカ交流会がタイ国第2の都市チェンマイで1月、3月と2回行われた。

チェンマイ到着後市役所表敬訪問し、副市長はじめ市幹部の歓迎を受けインディアカの説明など行い和やかな内に終了した。

翌日、地元のクラブチームとの交流は屋外コートで行われた。このコートは土地を借り受け、インディアカコート、ターゲットバードゴルフコース、ベンチ、トイレなど整地から建築まで自分たちで造り上げたコートであった。

また、北部農村では、広場で村人と交流し、帰路学校に



立ち寄り講堂で中学生に説明しゲームを楽しんだ。

3月の市役所表敬訪問では副市長はじめ、4名の校長先生が参加され学校でも取り組みも考えているようです。今回の交流は、総合体育館（バドミントン6面の専用体育館）でクラブチームと体育館長はじめ体育関係者にパス、トス、ブロックなど基本練習を指導後、ゲームを楽しんだ。終了後インディアカのためにコートを開放するとのことであった。今後タイ国でのインディアカ発展が期待される。

また、7月にはインディアカチェンマイ大会が行われる予定である。



さあ！個人会員になって 一緒にインディアカしませんか

インディアカをよりよく楽しむためには、(社)日本インディアカ協会の個人会員になることが近道です。

会員の登録方法は簡単です。

1. 住所 2. 氏名 3. 性別 4. 年齢 5. 生年月日 6. 電話番号を明記して、入会金1,000円と会費3,000円(3年分)を添えて居住地の都道府県インディアカ協会に申し込みます。登録終了後、会員証(プラスチックカード)がお手元に送付されてきます。

会員登録をしますと様々な特典があります。

- ①インディアカの練習や活動を可能にするインディアカクラブの紹介
- ②用具の割引購入
- ③各種インディアカ大会への優先的出場
- ④普及審判員・指導審判員など公認審判員の資格取得
- ⑤国際大会・国際交流事業への参加等
- ⑥機関紙「let's Play Indiaca」配布



「第2回インディアカ世界選手権大会inつくば」を契機として、社団法人日本インディアカ協会のロゴマークが作成しました。

これまでは、インディアカを製造しているドイツプレムシー社の登録商標を使っておりましたが、2004年4月からは、ここに表示しましたロゴを使うことになりました。

このロゴの実物は、カラーで出来ております。

県協会、市町村協会でお使いになる場合は、ご連絡下さい。

2nd Indiacca World Championships in Tsukuba

日本代表チームの紹介

<男子の部>

● インパルス

今大会で、男子日本代表の榮譽にあずかりました、私達のホームグラウンドは千葉県です。北西部で、茨城／埼玉県／東京都と隣接しているものの、三方を海に囲まれた緑の大地です。

私達は大柄でないので、動きの速さと粘りのレシーブで世界へ挑戦します。

- | | |
|---------|------------|
| 1 鈴木 聡 | 5 相本 靖将 |
| 2 西村 晃 | 6 野村 大典 |
| 3 斉藤 純一 | (監督:大口 達也) |
| 4 田中 巧 | |



<女子の部>

● アルファ

アルファを結成して10年。メンバーは現在9名、そのうち5名が大会に出場します。チーム構成はアタッカーとセッターが役割分担されていて、それぞれのスペシャリストをめざして励んでいます。固定して少しずつ結果を残しながら、充実したチームになってきたつもりですが、まだまだです。ただ、信頼関係とチームワークの良さは抜群で、それがアルファの強みになっていると思います。



国際ルールにどれだけ対応できるかわかりませんが、勝敗より世界の選手とPlayできる貴重な体験を精一杯、楽しんできたいです。

- | | |
|---------|---------|
| 1 春秋 幸子 | 5 神山裕美子 |
| 2 斎藤 勝恵 | 6 長谷川知子 |
| 3 吉野 和枝 | 7 山口 葉子 |
| 4 小野沢有子 | 8 高田 奈緒 |

<混合の部>

● プラスワン

私達プラスワンは、所沢市在住在勤の男女9名で活動しています。週2回の練習と、週末には、埼玉県内にとどまらず全国各地の大会などに参加し交流を広めています。拾ってつなぐ粘りのプレー・クイック等を取り入れた幅のある攻撃—そして何といてもチームワークの良さがプラスワンのチームカラーです。2大会連続の国際大会への参加となりますが、対戦国の高さに負けない持ち前の粘りのインディアカで、前回の3位という成績を上まれるよう精一杯頑張ります!!

- | | |
|---------|---------|
| 1 佐藤 夏月 | 6 長谷川知子 |
| 2 佐藤 友希 | 7 山口 葉子 |
| 3 砂田 龍人 | 8 高田 奈緒 |
| 4 二宮 敏樹 | 9 二宮 邦子 |
| 5 太田 智成 | |



〈シニア男子の部〉

● WOODS INDIACA CLUB

ウッズ・インディアカ・クラブは、愛知県知多郡東浦町森岡地区に在住する人たちを中心に1988年に結成されました。クラブ名の由来は、森岡にちなんでウッズです。部員は30名を超えています。まさに老若男女の集まりですが、愛知県内のみならず県外の試合にも積極的に参加しています。今回は、このクラブメンバーを中心にして、世界選手権大会・男子シニアチームに出場です。出場メンバーの平均年齢は50歳を超えています。重力に逆らうことが徐々に難しくなり、ジャンプ力が低下し、アタックの威力はこんなはずではなかったと首をかしげつつ、精一杯頑張ります。どうぞ応援よろしくをお願いします。

- | | |
|---------|---------|
| 1 二宮 克美 | 6 堀金 雅一 |
| 2 村井 清 | 7 山下 輝彦 |
| 3 坂野 三次 | 8 松井 晶紀 |
| 4 金子 林司 | 9 横山 浩道 |
| 5 佐藤 勲 | |



〈シニア女子の部〉

● フレンドシップ

我がチームは、結成して18年目になります。会員は、20人位ですが、男性が4人で、ほとんどが女性です。それもシニア年齢が大半の熟女で美人揃いのチームです。毎週木曜日に近くの公民館で、夜の7:00~9:00まで練習しています。練習後のおしゃべりも含めて、メンバーの皆さん、ストレス解消と共に、体力維持、健康維持の為に楽しく、時には厳しく練習に励んでいます。



今回は、エストニアで開かれた第1回のワールドチャンピオンシップに参加した時の仲間と一緒に参加させて頂きました。

本当にインディアカが大好きな仲間たちです。

- | | |
|---------|------------|
| 1 小野寺幸子 | 7 押塚 悦子 |
| 2 長島 清子 | 8 久保奈津江 |
| 3 吉田千恵子 | 9 和田 和子 |
| 4 澤田久美子 | 10 田口三江子 |
| 5 竹田 照子 | (監督：山谷 平造) |
| 6 片倉 洋子 | |

〈シニア混合の部〉

● 島根アクアス

私達は島根県のチームです。浜田を中心に活動しています。4人は柏村印刷という同じ職場の仲間です。週3回練習しています。この前まで、若いつもりで頑張っていました。が、みんなシニアになる様になってしまいました。

去年の全日本シニア大会で優勝しまして、今回、世界大会に出られる事になりました。とてもうれしく思っています。このようなチャンスは二度とないと思いますので、みんなで、楽しく、悔いのない試合をしたいと思えます。世界の壁は厚いかなあー。ネットも高いし、コートも広いし、でも、50肩でも拾って拾って頑張ります。

- | | |
|---------|----------|
| 1 吉山 榮喜 | 6 浜本 幸子 |
| 2 叶松 久男 | 7 迫本のり子 |
| 3 植田 博文 | 8 矢田部万寿江 |
| 4 三好 晴夫 | 9 御園美津江 |
| 5 御園 敏郎 | |



